

20(0.7.18(日)

徳島新聞



COPDの治療に関する講演に耳を傾ける来場者—徳島市内のあわぎんホール

「肺年齢」考えよう

徳島市で
公開講座
専門医がアドバイス

日本呼吸器学会中国・四国支部の市民公開講座「肺年齢を考える」が17日、徳島市内のあわぎんホールであり、約200人が専門医4人の話に耳を傾けた。

徳島県立中央病院呼吸

器内科の薬久貴司部長は「慢性閉塞性肺疾患(COPD)と肺年齢」と題

して講演。COPDは別名「たばこ病」と呼ばれ、患者の約90%が喫煙者で、世界の死因第4位であることなどを紹介。「早期発見には肺活量などから測定できる肺年齢が役立つ」とアドバイスをした。

徳島大学病院呼吸器・膠原病内科の西岡安彦准教授は「いびきと睡眠時無呼吸」について説明。

睡眠中に呼吸が10秒以上停止する無呼吸が何度も起きると、昼間の眠気や

集中力低下だけでなく、脳卒中や心筋梗塞を引き起こすこともあるとし、「家族同士で睡眠の状況をチェックすることも大事」と訴えた。